

「田中一村」



「与論島初冬」(紙本墨画着色/紙)
©2012 Hiroshi Niiyama

本土復帰 40 周年記念

田中一村展

美術館
企画展

2012年3月30日(金)～5月6日(日) (※4/30開館、翌5/1休館)

一村の「与論島視察記」

昭和33年12月に奄美大島に到着した一村は、1週間ほどで奄美よりさらに南の沖永良部島、与論島まで足をのぼしています。一村はその旅先から、「与論島視察記」と称した手紙を、千葉の親せきにあてて送りました。「ついに日本領土の最南部に来ました。…毎日写生と写真、すでに数種の南国的画題を得ました。」(12月23日付) / 「海辺の小径を行きますと杵の音が聞こえます。榕樹(ようじゅ)の葉蔭に牛は寝そべり、庭には赤い蘇鉄(そてつ)の実が乾(ほ)してあり、兎の餅搗(もちつき)のような縦杵で変った形の臼で老婆が何か歌いながら搗(つ)いています。…沖縄へ続く海の潮騒を、農家の縁に腰かけて目を閉じて聞き入れば、己れも三千年前の太古の民と化する思ひが致します。」(12月30日付)

こうした文面から、日本列島の南の果てにたどり着いた興奮や珍しい植物や生き物、人々の暮らしぶりに関心を示す旅人としての一村の嬉々とした様子を伝えます。この旅で得た「南国的画題」は今回の展示作品、写生図、色紙に見ることができます。淡彩による軽やかなタッチで描かれた色紙作品と、後の代表作「不喰芋^{くわずいも}と蘇鉄^{そてつ}」などの濃密な画面との対照的な違いを見比べてみるのも、本展ならではの楽しみ方といえるでしょう。

ところで先に紹介した手紙には「沖縄は海上七里指呼の間にあります。」とあり、一村が与論島から沖縄本島を眺めていたことがわかります。「もしも一村が沖縄まで足をのぼしていたら？」そんな妄想に駆られつつ、きつと多くの傑作が描かれたに違いないと思うのは私だけでしょうか。

(文化の杜共同企業体 金城美奈子)

観覧料：一般 1,000円(800円)

高・大学生 700円(560円)

小・中学生 300円(240円)

※()内は前売、及び20人以上の団体料金

次回予告



「土門拳の昭和と沖縄」 2012年5月15日(火)～6月24日(日)

日本の写真史に巨歩を記した土門拳(1909-1990)。2009年に生誕100年を記念して企画された本展覧会は、日本工房時代の報道写真から、「風貌」、「筑豊の子どもたち」など戦後のリアリズム写真を経て、日本の美をカラー写真で捉えた晩年の「古寺巡礼」までを展示し、土門拳の全業績を概観するものとします。加えて、ここ沖縄会場では、戦前に柳宗悦率いる琉球観光団として来沖した際に撮影した写真も展示し、土門が見つめた沖縄の姿も紹介します。

観覧料：一般 1,000円(800円)

高・大学生 600円(480円)

小・中学生 300円(240円)

※()内は前売、及び20人以上の団体料金



「しんこ細工 東京・浅草雷門」

博物館企画展

沖縄復帰 40 周年記念

紅型 BINGATA

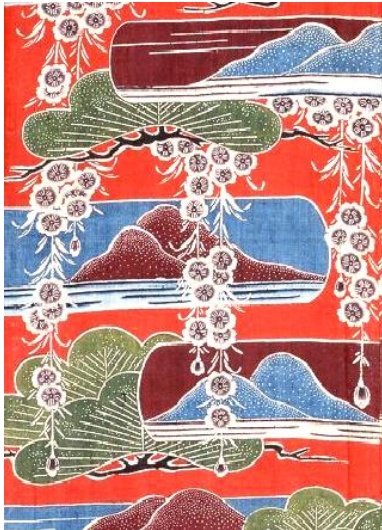
琉球王朝のいろとかたち

2012年4月24日(火)～5月27日(日)



水色地菱草花に鬚斗模様衣裳(表)
水色地梅楓尺し模様(裏)(松坂屋コレクション)

琉球王国で生まれた紅型は、型染による表現の多様性において特質すべき染色品です。型紙を駆使して創り出された「かたち」と鮮やかな「いろ」には、高い評価があります。しかし、戦後生まれの世代は、果たして紅型の真実をどれだけ知っているのでしょうか。実は、王国時代末から近代にかけて染められた紅型の優品の多くは、廃藩置県後、多くの収集家や研究者たちによってコレクションされ、沖縄を離れていきました。また、第二次大戦により、沖縄にあった紅型の多くは失われてしまいました。戦前から紅型を続けていた城間榮喜氏、知念績弘氏の尽力によって紅型は復興しましたが、私たちには王国時代の華麗な紅型の世界を目にする機会は殆どありませんでした。



染分地震遠山に枝垂桜模様衣裳(松坂屋コレクション)

今回の展覧会では、戦前、戦後を通じて守り伝えられた代表的な優品や王家に伝えられた作品(国宝)など、100点以上の紅型衣裳が型紙とともに一堂に会することになります。特に、松坂屋コレクションは復帰40周年という節目にあたり、初公開されることになりました。この規模で紅型を紹介する展覧会は、戦後初となります。

展示は、「特別出品 琉球国王尚家の紅型衣裳」「第1章 紅型の「いろ」と「かたち」」「第2章 もうひとつの紅型—筒描」「第3章 初公開 松坂屋コレクションの紅型衣裳」に「エピローグ 紅型 新たなとりくみ」として、新しい研究成果や紅型デザインを活かしたとりくみなどを紹介していきます。

紅型の美を堪能していただきながら、これからの紅型を考える機会としたいと願っています。

(博物館班学芸員 與那嶺一子)

※会期中2回展示替えを行ないます※

☆本展覧会の半券提示で2回目以降は2割引でご覧いただけます。

(他の割引との併用はできません)

☆4月24日(火)～5月6日(日)は、同時開催中の田中一村展を本展覧会の半券提示にて通常料金の2割引でご覧いただけます。

観覧料：一般 800円(640円)

高・大学生 500円(400円)

小・中学生 300円(240円)

※()内は前売、及び20人以上の団体料金

次回 予告

平成23年度収蔵資料 新収蔵品展 6月1日(金)～6月24日(日)

平成23年度は琉球王朝末期を代表する絵師・佐渡山安健(さどやま・あんけん)の描いた「馬の図」(別名「仲田青毛之図」)など、個人や機関等から多数の貴重な資料をご寄贈いただきました。また、収集、購入した資料も合わせて展示します。



「馬の図」

大嶺薫コレクション展

6月6日(水)～6月24日

1985(昭和60)年3月に、沖縄県立博物館へ寄贈された大嶺薫(1905-1970)氏が収集したコレクションの概要を紹介します。

4月イベントカレンダー

1	日	★復帰40周年記念 「田中一村展 琉球弧で開花した美の世界」 3/30~5/6
2	月	休館日
7	土	☆博物館学芸員講座 生物 講師：千木良芳範(当館副館長) 14:00~16:00 ☆美術館コレクション展 キュレータートーク 「森山大道 何かへの旅」 講師：新里義和(当館学芸員) 15:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ(午前中)
8	日	☆田中一村展関連イベント 「ギャラリートーク」 講師：比嘉正一氏 1回目13:00 2回目15:00
9	月	休館日
10	火	県民ギャラリー1・2・3 第8回龍寶書源書道展 4/10~4/15
14	土	☆田中一村展関連イベント 「墨彩画」体験実習 講師：西村立子氏 14:00~16:00 ☆博物館文化講座 「語り始めた大地ー本部半島 でのジオパーク活動」 講師：尾方隆幸氏 14:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ(午前中)
15	日	☆田中一村展関連イベント 映画「アダン」上映会 14:00~16:20
16	月	休館日
19	木	☆展示解説会 博物館常設展示室(民俗) 講師：久場政彦(当館学芸員) 14:00~15:00
21	土	☆田中一村展関連イベント シンポジウム 「琉球弧と田中一村」 14:00~17:00 ☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 博物館14:00~15:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ(午前中)
23	月	休館日
24	火	★博物館・企画展 沖縄復帰40周年記念 「紅型 BINGATA 琉球王朝のいろとかたち」 4/24~5/27
28	土	☆体験学習教室 連続講座 紅型展関連催事(28・29日) 「紅型にチャレンジ！」 講師：城間栄市氏 ☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 美術館：14:00~15:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ(午前中)
29	日	☆紅型展 展示解説会 「紅型BINGATAの歴史」 與那嶺一子(当館学芸員) 15:00~16:00

ごあいさつ

県立博物館・美術館には「博物館友の会」や美術館支援団体「happ」などが発行している情報誌がいくつかありますが、今回遅ればせながら文化の杜共同企業体も情報誌「はくび通信」を発行することになりました。当面3ヶ月に1回のペースで館内の企画やイベント、各種情報を関係機関などにお届けします。よろしくご愛読願います。

ことは開館5年目になります。県民に開かれた施設として利用者も200万人を突破しました。私たちはこれからも県民の学習や研究、観賞活動をバックアップしていきます。「はくび通信」がその一助になれば、と思っています。

(指定管理者 文化の杜共同企業体代表 平良知二)

■ 博物館学芸員コラム

博物館で天然記念物
を見てみよう！ 「ジュゴン」



「天然記念物ジュゴンの骨格標本」

常設展示室に入ると正面に「サークルホール」と呼ばれる円形の空間があります。その右奥にひっそりとたたずんでいるのが天然記念物ジュゴンの骨格標本です。

ジュゴンは人魚のモデルといわれる海生哺乳類で、沖縄では「ザン」「ザンヌイユ」などと呼ばれ古謡や伝説にも登場します。王国崩壊後、明治から大正初期にかけてずいぶん捕獲され減少してしまいました。現在、県内では沖縄島周辺にのみ生息していると考えられています。昭和30年琉球政府の天然記念物に指定され、昭和47年の本土復帰と同時に国指定に引き継がれています。サークルホールのは、昭和54年1月18日に名護市嘉陽で刺網にかかっていたところを保護され、沖縄海中公園での飼育ののち同年2月19日に死亡したジュゴンの骨格(複製)です。体長160cm、体重95kg、推定年齢2-3才の若い雌でした。(濱口寿夫)

☆ジュゴンの骨格標本は、博物館常設展示室にて展示中です。

■ 美術館学芸員コラム

かげ
「陰翳に想う」 津野力男写真展によせて

常日頃目にしながら気にも留めなかった光景が、ある日突然、初めて目にしたような驚きをともなって眼前に迫ってくることはないでしょうか。私は高校3年の夏、砂利道に落ちる陰の濃さに目を奪われたことがあります。東京の画塾に通うため、ひと月沖縄を離れた後でした。深い陰に、「沖縄」を強く意識した事を覚えています。いま、コレクション・ギャラリー1でご紹介している写真家の津野力男は、「モノクロ写真には、すべての色が入っている。見る人の感性によって、さまざまな色をのせることができる」

(『魚眼レンズ』2002.9.30、沖縄タイムス)と語りました。全ての色が白と黒の明暗で置き換えられたモノクロ写真は、光と陰翳の存在を強く立ち上がらせてきます。写真の中の陰翳に目を凝らすと、その微妙な表情に気が付きませんか？それは見る人の心の機微なのかもしれない。(大城仁美)

津野力男「睡蓮」



☆津野力男写真展は5月6日まで美術館コレクションギャラリー1にて開催中。

5月イベントカレンダー

1	火	休館日
5	土	☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 博物館 14:00~15:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中） ☆紅型展関連イベント 博物館体験教室 「みんなで紅型を染める！」
6	日	☆紅型展 展示解説会 與那嶺一子（当館学芸員） 「紅型BINGATAの技法と色」 15:00~16:00
7	月	休館日
12	土	☆博物館文化講座 「2つの復帰を経験して(仮)」 講師：津留健二氏 14:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中）
14	月	休館日
15	火	★美術館・企画展 「土門拳の昭和と沖縄」 5/15~6/24
17	木	☆展示解説会 博物館常設展示室（地学） 講師：仲里 健（当館学芸員） 14:00~15:00
19	土	※国際博物館の日 ☆博物館文化講座 シンポジウム 「紅型からの メッセージを解く」 13:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中）
20	日	☆土門拳展関連イベント ギャラリートーク 講師：小橋川共男氏 15:00~16:00 ☆紅型展 展示解説会 與那嶺一子（当館学芸員） 「紅型BINGATAの文様」 15:00~16:00
21	月	休館日
22	火	県民ギャラリー1・2 第45回書遊会沖縄書道会展 5/22（火）~5/27（日）
26	土	☆博物館学芸員講座 講師：與那嶺一子 （当館学芸員） 美術工芸 14:00~16:00 ☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 美術館 14:00~15:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中）
28	月	休館日
29	火	県民ギャラリー1 「5周年記念折り紙展」 5/29~6/10

博物館ふれあい体験室



体験キットNo.1「サインを見のがすな！」を紹介するよ。

「フィールドサイン」とは、動物が残した痕跡のこと。では、「フィールドサイン」には、どのようなものがあり、どんなことを知る手がかりになるのでしょうか？県内の森・海岸・マングローブといった環境の違う3種類の場所が描かれたシートを特殊な虫眼鏡（むしめがね）を使ってのぞき込むと、隠れていたサインが浮かびあがります。見つけたサインが誰のものなのか、動物カードと照らし合わせ、正体を探り当てます。フィールド調査を行う研究者になりきって、調査を疑似体験し、観察や探求する楽しさをひきだします。

（ふれあいスタッフ渡部貴子）

「ふれあい体験室」は入場無料の体験型展示室です。「体験キット」で楽しく学ぼう♪



ふれあい体験室 9:00 ~ 18:00

○ふれあい体験室ワークショップ「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

毎週土曜日①10:00 ②10:30 ③11:00 ④11:30

定員：各回10人 料金：各回100円（4月~6月）

ミュージアムショップ

ゆいむい



はじめまして

ミュージアムショップゆいむいです。博物館・美術館の収蔵品をモデルにしたオリジナルグッズをはじめ、伝統工芸品の販売や数多くの書籍を揃えております。また、企画展開催中には展示関連のグッズや書籍も取り揃えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

お待ちしております。

営業時間 9:00-18:00 TEL : 098-941-0749

http://shop.bunkanomori.jp FAX : 098-941-0884

Museum Cafe 茶花

白を基調とした、シンプルで落ち着いた店内。ご観覧後にコーヒーを飲みながらゆっくりと大人の時間が楽しめます。おすすめの人気メニューは美術館セット・博物館セット各1,280円。コーヒー480円、自家製りんごケーキはドリンクセットで700円。パーティーなどのご相談・ご予約も受け承ります。○全席無線LAN使用可能

■沖縄県立博物館・美術館 ■■■

- 〒900-0006
- 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
- TEL:098-941-8200
- FAX:098-941-2392
- 開館時間：9:00~18:00（金・土は20:00まで）
- 入館は閉館30分前まで
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館）
- 消毒休館日：（6月25日~7月3日）
- http://www.museums.pref.okinawa.jp

編集後記

はじめまして、情報センターと申します。これから年に4回、展覧会を中心に、博物館・美術館の情報をお届けいたします。宜しくお願い致します。発行部署：館内 情報センターTEL：098-941-1187

6月イベントカレンダー

1	金	★博物館・企画展 「新収蔵品展 平成23年度収蔵資料」 6/1~6/24 県民ギャラリー1 「5周年記念折り紙展」 5/29~6/10
2	土	☆土門拳展関連イベント 講演会「弟子から見た 写真界の巨人・土門拳」 講師：藤森 武氏 14:00~15:30 ☆美術館コレクション展 キュレータートーク 「新しい写真の展開」 講師：新里義和（当館学芸員） 15:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中） ☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 博物館 14:00~15:00
4	月	休館日
5	火	県民ギャラリー2・3 第29回日本現代美術協会 沖縄支部展 6/5~6/10
6	水	★博物館・企画展 「大嶺薫コレクション展」 6/6~6/24
9	土	☆土門拳展関連イベント ギャラリートーク 講師：土屋誠一氏 15:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中）
10	日	☆博物館文化講座 「文化財の保存」 講師：藤田勲夫氏 14:00~16:00
11	月	休館日
16	土	☆博物館学芸員講座 民俗 講師：岸本 敬（当館学芸員） 14:00~16:00 ☆バックヤードツアー 講師：当館学芸員 美術館 14:00~15:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中） ☆鑑賞ツアー 美術館 コレクションギャラリー 16:00~17:00
17	日	☆土門拳展関連イベント 講演会「土門拳をたずねて」 講師：酒井忠康氏 14:00~16:00
18	月	休館日
19	火	県民ギャラリー1・2・3 12の金の糸 パッチワークキルト展 6/19~6/24
21	木	☆博物館展示解説会 講師：園原 謙（当館学芸員） 美術工芸 14:00~15:00
23	土	☆ふれあい体験室 ワークショップ（午前中）
25	月	消毒休館日 6/25~7/3
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	

営業時間 11:00-18:00
（ラストオーダー17:30）
TEL・FAX：098-862-7530
http://chaka.ti-da.net/

